

商業科（ビジネス基礎）学習指導案

| | |
|----|----------|
| 月日 | 6月25日（月） |
| 時限 | 4 時 限 |

| | | | | | |
|---------|--|--|--|--|---|
| 普通科 | 2. 3. 4年 選択者 | 31教室 | 指導者 | 小田原 知子 | |
| 単元名 | 第4章 ビジネスと売買取引 第2節 売買に関する計算 | | 教科書 | ビジネス基礎 新訂版 | |
| | | | 発行所 | 実教出版 | |
| 単元目標 | 1. ビジネス活動に必要な割合, 数量と代価, 仕入原価と売買（販売価格）, 度量衡と外国貨幣などの売買に関する基本的な内容について理解させる。 | | | | |
| 単元の評価規準 | 関心・意欲・態度 | 思考・判断・表現 | 技能 | 知識・理解 | |
| | 数の表示の方法と売買に関する各種の計算に関心を持ち, 自ら意欲的に計算しようとする。 | 数の表示の方法と売買に関する各種の計算について, その活用と計算結果の妥当性について判断しようとする。 | 数の表示の方法と売買に関する各種の計算に関する基礎的な知識と技術を身に付け, 各種の計算を的確に処理できる。 | 数の表示の方法と売買に関する各種の計算について基礎的・基本的な知識を身に付けている。 | |
| 指導計画 | 第4章 ビジネスと売買取引 第2節 売買に関する計算 1 割合 <本時> 2 数量と代価 3 仕入原価と売価（販売価格） 4 度量衡と外国貨幣 | | | | |
| 本時目標 | 1. 割合の基礎である分数・小数・百分率・歩合の表示方法を確認させる。 【関心・意欲・態度】 2. 基本的な割合に関する公式の意味を考え, 使用できるようにする。【思考・判断・表現】 3. 計算器具として電卓を活用し, 使い方を習得させる。【技能】 4. 商業計算の基礎・基本をしっかり理解させる。【知識・理解】 | | | | |
| 準備・資料 | 教科書 p 133～135 自作プリント 電卓 | | | | |
| | 指 導 内 容 | 学 習 活 動 | 学習 形態 | 時間(分) | 指 導 上 の 留 意 点 (教 師 の 支 援) |
| 展 開 | 本時の授業内容解説 | 割合を実生活でどのような時に使っているのかを考え, 発表する。 プリントで割合の考え方を確認する。 | 一斉 | 5分 | 割合が, 売買に関する計算をはじめとして, 様々なビジネス活動に必要な計算の基礎であることを確認させる。 【関心・意欲・態度】 割合が, 比較量が基準量の何倍であるかをあらわしたものであることを理解させる。【思考・判断・表現】 |
| | 割合のあらわしかたと計算について 電卓の使い方 基準量と比較量の計算 | 割合のあらわしかたをプリントで問題を解きながら確認する。 指の分担や各部の機能について理解する。 プリントで問題を解きながら, 基本的な割合に関する公式を理解する。 | 一斉 個別 | 30分 | 小数, 百分率, 歩合, 分数などの表現方法があることを理解させる。 【知識・理解】 机間指導 タッチメソッドの説明にもふれ, リズムよくキータッチができるようにする。【技能】 机間指導 何が基準となる量で何が比較される量であるかを理解させる。 答えの記入方法について確認させる。 【知識・理解】 |

| | | | | | |
|-----|---|--|----|-----|--|
| まとめ | 本時の確認 | 珠算・電卓検定ビジネス 計算部門3級レベルの問題を解く。 次時の予告 | 一斉 | 10分 | 割合の計算は基本なので多くの問題を解き、確実に答えを導きだせるように練習させる。 机間指導 |
| 評価 | 1. 割合の基礎である小数・百分率・歩合・分数の表示方法が確認できたか。【関心・意欲・態度】 2. 基本的な割合に関する公式の意味を考え、使用できたか。【思考・判断・表現】 3. 計算器具として電卓を活用し、使い方を習得できたか。【技能】 4. 商業計算の基礎・基本をしっかりと理解したか。【知識・理解】 | | | | |